

平成25年度 第9回富里市教育委員会定例会議会議録

富里市教育委員会

- 1 期 日 平成25年11月26日(火)
開会 午後2時
閉会 午後4時15分
- 2 場 所 本庁舎3階第3会議室
- 3 出席委員 委 員 長 武 井 勝 彦
委員長職務代理者 佐々木 浩 二
委 員 森 田 惠 子
委 員 會 田 直 子
教 育 長 國 本 與 一
- 4 出席職員 教 育 次 長 小 野 祐一郎
教 育 総 務 課 長 高 須 利 幸
学 校 教 育 課 長 滝 口 次 郎
学 校 給 食 中 心 所 長 大 木 正 吾
生 涯 学 習 課 長 榊 原 孝
図 書 館 長 根 本 優
- 5 事務局職員 教育総務課課長補佐 中 津 義 孝

平成25年12月24日

署 名 人

署 名 人

会議録作成人

1 委員長開会宣言

武井委員長 平成25年度第9回富里市教育委員会定例会議を開会する。

2 前回会議録の承認

平成25年度第8回定例会議会議録承認

(署名人：佐々木委員，國本教育長)

3 教育長報告

・教育委員会は、これから12月定例議会の対応が中心となる。内容は条例改正の他に補正予算などである。また、事務としては、現在、平成26年度当初予算編成を行っている。

・11月1日、アメリカホームステイ体験ツアー帰国報告会があった。12名の中学生が立派な報告を行った。また、保護者より参加人数を増やしてほしいという要望があった。

・11月3日、福祉まつりが行われ、児童生徒などへの表彰が行われた。また、旧岩崎家末廣別邸 国登録有形文化財記念シンポジウムが盛会裡に行われた。

・11月5日、アメリカ・コンコルディア大学生ペイジ・ハマーさんの表敬訪問があった。現在、小学校を中心に英語活動のサポートをしている。活動期間は11月1日から12月20日までである。

・11月6日、印旛郡市地方教育委員会連絡協議会視察研修が行われ、委員の皆さまとともに参加した。

・11月10日、英語スピーチ・パフォーマンスコンテストが開催された。昨年より多くの参加者であった。また、富里市立図書館開館10周年記念講座が開かれた。

・11月11日、文教厚生常任委員会視察に同行し、国立特別支援教育研究所に行った。

・11月12日、洗心小学校の在り方検討協議会が開かれた。学童保育などの意見がでた。

・11月15日、生涯学習・家庭教育講演会が多くの参加者を得て開催された。

・11月16日、ガールスカウト千葉県連盟第91団が成田市を中心に発足し、設立式典が行われた。

・11月19日、富里市定例表彰式、教育長顕彰授与式など5つの表彰式が行われた。

・11月28日、12月定例議会が開かれ、12月19日が最終日になる。

翌20日には第4回学校適正配置検討委員会が開かれる。

4 教育委員報告

委員 11月3日に旧岩崎家末廣別邸国登録有形文化財記念シンポジウムに参加した。参加者がたくさんおり、文化財への関心が高いことに驚かされた。末廣別邸の活用について、しっかりと議論し、その過程を市民の皆さんに伝えていく必要性を感じた。自分自身は、末廣別邸をどのように活用すればよいかアイデアがあるわけではないが、議論の行方に興味がある。また、建物や庭を見学する機会があるとよいと思う。この場所を訪れることで富里市をさらに好きになる市民が増えるだろうし、小中学校で学習の題材とすれば、明治時代や畜産の歴史についての理解が深まると感じた。

11月15日、富里市生涯学習・家庭教育講演会に参加した。お母さん大学代表の「お母さんはすごい」という演題で講演があった。「お母さんが夢を持たなければ子どもも夢を持ってない。夢を持って一歩踏み出してください。」と熱く語られた講演であった。お母さんが自分に自信を持って、子育てを楽しむことで、大変だった子育てがかけがえのない子どもとの時間になっていくと思った。安心して子育てをできる環境や地域づくりをお母さん達も考えて行動していくことが社会を明るくする助けになると思った。とても勇気づけられる講演であった。

委員 11月6日、印旛郡市地方教育委員会連絡協議会の研修視察に参加した。千葉県立千葉聾学校では、聴覚に障害を抱えている子供たちがどのように学習活動に取り組んでいるのか、その様子を参観した。

どの教室でも先生と子供との距離が一律になるよう机椅子が馬蹄形に配置され、手話やカードを使って授業を進められていた。幼稚部、小学部は、音声にして読話力をつけること、助詞を大切に言語指導が行われていた。改めて言葉を伝えることの難しさを痛感した。

高等部は理容科などがあり理容師としての技術を習得するための施設が整備されており驚いた。社会に出ていくと色々な問題があるとのことであった。子ども達一人ひとり、聞こえの状態に違いがあって、把握しながら個々の実態に基づいた指導を行うのであるが、専門的な知識、経験のある人が少なくなっているという問題があるとのことであった。

また、専門の知識を持った教員が千葉聾学校に就任するものと思っていたが、一般の先生方が異動で配置されると聞き、先生方の苦労は計り知れないものがあると感じた。

聴覚に障害のある子どもの保護者は、一般の学校の教育を希望されて

いることが増えていると聞いた。先生方の専門性がさらに必要とされ、もっと研修を重ねていかなければならず、大変な時代であると感じた。

葛飾区教育委員会では、学校、保護者、地域住民等による学校支援ネットワークについて視察した。学校地域応援団というものを作り、学習支援、体験学習の支援、環境整備、学校安全活動の支援を行い、地域で子供たちの教育活動を支えているとのことであり、大変参考になった。

11月10日は、図書館開館10周年記念講座「耳で味わう～平家物語」に参加した。楽器と語りのコラボレーションは幻影的でとても素晴らしかった。文字で見るのと耳で聞くことは大きな違いがあり、平家物語を理解した気分に入れ、とてもよい講座であった。

委員 11月9日、浩養小学校放課後子ども教室特別編に参加した。

学習アドバイザー3名、安全管理委員として地域PTA等を含め12名、児童44名が参加した。当日はうどん作りとバルンアート作りを行った。

手打ちうどんは、粉を練る作業から作った。普段、学校の授業ではできないこと、家でもなかなかできないことを体験し、喜んでいる子供たちの笑顔がよかった。来年度も是非継続して実施していただきたい。

11月10日、第6回英語スピーチ・パフォーマンスコンテストに参加した。第1部は25組111人による発表であった。表現力豊かに発表する姿は、優劣をつけがたいものであった。これからも英語を勉強して将来に生かしてほしいと思った。第2部は、ホームステイ体験ツアーに参加した中学生12名の出国前から帰国後までの活動内容や感想の報告であった。

その内容は、アメリカのホストファミリーに歓迎されたこと、授業スタイルの違いに驚いたなど、貴重な体験をしてきたものと感じた。このような体験報告を聞く機会によって、さらに英語に興味を示す子どもが増えるのではないかと思った。来年度から実施できる人数を増やしていただけたらよいなと感じた。

11月18日、第2回富里市消費者行政推進連絡協議会に参加した。平成25年度上半期の相談件数は158件あり、第1位は金融保険サービスに関する相談で24件、同件数、同位で運輸通信サービスに関する相談であった。小中学生、高校生を含めて、アダルト情報サイト、懸賞サイト、無料ゲームに登録するなどにより十数万円の請求がくるなどの事件があるとのことであった。今後も携帯等に対する指導をさらに強化して進めていただきたい。

武井委員長 11月6日、印旛郡市地方教育委員会連絡協議会の研修視察に参加した。本市が研修視察担当であった。千葉県立千葉聾学校では、

普段なかなか体験することのできない聴覚障害教育の実践について、興味深く、研修した。また、葛飾区教育委員会では、地域の子供は地域のみんなで育てようとの趣旨で「学校地域応援団」を結成し、子供たちが心身ともにバランスよく成長していけるよう試行錯誤しながら努力されているとのことであった。これらの内容は現在の教育環境として必要なものであると感じた。他市から参加された委員の評価からも研修視察内容は大変よかったと感想が寄せられた。

5 議案

武井委員長 議案第1号から議案第5号までを一括で議題とする。提案者である國本教育長から提案理由の説明を求める。

教育長 議案に対する提案理由について説明をする。

議案第1号 平成26年度富里市教育委員会の歳入歳出予算に係る意見について、平成26年度の歳入歳出予算の編成に当たり、教育委員会に係る予算への配慮を求める意見書を市長に提出することについて、富里市教育委員会行政組織規則第8条第3号の規定により議決を求めるものである。

次に議案第2号 富里市立学校事務職員の標準的職務に関する規程の制定について、本案は、富里市立小・中学校事務職員の標準的職務について、平成16年3月31日付け富教学第722号にて富里市立各小・中学校長に通知し、運用してきたところであるが、富里市立学校事務職員の標準的職務に関する規程を制定することについて、教育委員会の議決を求めるものがある。

次に議案第3号 富里市立幼稚園児預かり保育に関する規則の一部を改正する規則の制定については、「富里市立幼稚園児預かり保育実施要綱」と「富里市立幼稚園児預かり保育に関する規則」により運用してきたところであるが、同一の内容が含まれている条文等があったため、内容を精査し「富里市立幼稚園児預かり保育に関する規則」にまとめるものである。また、預かり保育料については「富里市立幼稚園保育料徴収条例」に、預かり保育料の減免については「富里市立幼稚園保育料等の減免に関する規則」に明記し、規則を改正することについて、教育委員会の議決を求めるものである。

次に議案第4号 富里市立幼稚園保育料等の減免に関する規則の制定については、「富里市立幼稚園保育料等徴収条例第5条の規定による幼稚園の保育料等の減免措置に関する規則」に預かり保育料の減免の追加

に伴い、内容等を精査したところ、改正内容が多岐に渡るため、「富里市立幼稚園保育料等徴収条例第5条の規定による幼稚園の保育料等の減免措置に関する規則」を廃止し、新規制定することについて、教育委員会の議決を求めるものである。

次に議案第5号 富里市立幼稚園児預かり保育実施要綱の廃止については、富里市立幼稚園児の預かり保育について、「富里市立幼稚園児預かり保育実施要綱」と「富里市立幼稚園児預かり保育に関する規則」により運用してきたところであるが、同一の内容が含まれている条文等があったため、内容を精査し「富里市立幼稚園児預かり保育に関する規則」にまとめ、「富里市立幼稚園児預かり保育実施要綱」を廃止することについて、教育委員会の議決を求めるものである。

よろしく審議の上可決されるようお願いする。

(1) 議案第1号 平成26年度富里市教育委員会の歳入歳出予算に係る意見について

教育長 教育指導事業の充実（非常勤一般職指導主事の配置）については、新たなものであるため補足説明をする。現在、主幹1名、指導主事3名の合計4名体制であるが、幅広い職務に対応するため非常勤の職として指導主事を採用し、さらに指導体制を充実していきたい。

<質疑等>

武井委員長 指導主事のみなさんは仕事を充分にしているが、日ごろから忙しく大変であるため、さらなる指導体制の充実のためよいことであると思う。

委員 是非、市長にお願いして、このような教育予算で進めていただきたい。

<採決>

議案第1号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

(2) 議案第2号 富里市立学校事務職員の標準的職務に関する規程の制定について（学校教育課）

学校教育課長 事務職員の仕事は、学校や地域によっては環境整備まで及ぶなど様々な実情があった。平成16年に職務を定義しようと全国的に進められた経緯があり、今までは通知で運用してきた。通知文の効力はあるものの、職務内容の確認をする際に規程として例規集に搭載しているほうが、職務の徹底が図れることと考えて新規に制定するものである。

<質疑等> なし

<採決>

議案第2号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

- (3) 議案第3号 富里市立幼稚園児預かり保育に関する規則の一部を改正する規則の制定について（学校教育課）
- (4) 議案第4号 富里市立幼稚園保育料等の減免に関する規則の制定について（学校教育課）
- (5) 議案第5号 富里市立幼稚園児預かり保育実施要綱の廃止について（学校教育課）

学校教育課長 議案第3号から議案第5号までは関連があるので一括して説明する。入園料，保育料，預かり保育料のうち，入園料，保育料は富里市立幼稚園保育料等徴収条例で規定しているが，預かり保育料は，預かり保育の実施時期が異なる関係で規則，要綱で規定し運用してきた。

地方自治法では，手数料を条例で規定する事項とされるため，入園料，保育料，預かり保育料の規定を条例事項として，申込，定員などの規定については，要綱を廃止し，規則として整理するものである。

<質疑等> なし

<採決>

議案第3号から議案第5号までは，賛成全員により原案のとおり可決した。

武井委員長 議案第6号は，富里市教育委員会会議規則第10条第1項第3号の規定により，非公開とする。ご異議はあるか。

（異議なしとの声あり。）

異議なしと認め，非公開とする。

- (6) 議案第6号 情報公開及び個人情報保護審査会の答申結果について（学校教育課）

<採決>

議案第6号は，賛成全員により原案のとおり可決した。

議案第6号についての審議を終了したため、非公開を解く。

6 報告事項

- (1) 「富里市教育委員会点検及び評価」及び「平成26年度とみさと教育プラン」に係るスケジュールについて（教育総務課）

<質疑等>

委員 評価は、どこの組織がどのように行うのか。

教育総務課長 富里市教育委員会点検及び評価は、教育委員会各課等において自己評価を行う。その後、外部評価者により自己評価の部分、成果がどうであったのかについて意見をいただき、議会へ報告する。

今年度の外部評価は、文部科学省の機関である国立教育政策研究所にお願いした。

- (2) 平成26年度富里市立幼稚園児募集に係る入園願書交付及び入園願書受付結果について（学校教育課）

学校教育課長 浩養幼稚園，富里幼稚園，向台幼稚園の平成26年度入園願書の受付の結果，3園とも定員に満たないため12月2日から2次募集を行う。

- (3) 第46回富里市文化祭開催結果について（生涯学習課）

生涯学習課長 来場者数については，残念ながら1日当たりの人数が減っている。

委員 平成25年度は来場者数が2,576人（4日開催）であり，昨年の4,177人（6日開催）に比べて減った原因はなにか。

生涯学習課長 来場者数は，お客さんの人数である。文化祭は，市が企画し実施するのではなく，それぞれ活動しているサークル等の参加希望を募って文化祭の日程調整をしている。パンフレット，ホームページ，広報紙で広く周知しているところであるが来場者数が減った原因については分析できていない。

武井委員長 来年に向けて1人でも多くの方に参加できるようにしていただきたい。

- (4) 旧岩崎家末廣別邸シンポジウムの成果について（生涯学習課）

生涯学習課長 11月3日の午後1時に開催，来場者数は約390名であった。内容については，来場者から好評を得ており，早く現地を見たいとの声を聞いた。

現在の整備状況は，敷地内の樹木，竹などの伐採を進めている。

来年度は，建物の修繕などを当初予算として要求しており，順次整備をしていく。今後の公開について，どのような形で公開をしていくのか，公開するにあたってどのような付加価値をつけていくのかが今後の研究

課題となっている。

このような中、企画課を中心とした庁内研究会が11月18日に設立された。11課、14名の職員で構成され、寄附をいただいた旧岩崎家末廣別邸の土地、道路を挟んだ残地についての今後の活用、土地利用を研究していこうという趣旨の研究会である。歴史的資源の活用をどのようにするか、市の様々な計画における整理、都市基盤に関するものなど総合的に研究をしていくというものである。生涯学習課からも職員が1名入っており、今後の動きとしては、構成員がそれぞれの課に持ち帰って案作りをしたものを提示して話し合い、協議、検討結果を市長に伝えるというものである。

会議に参加した生涯学習課職員の感触であるが、文化財保存の専門性を考慮した効果が期待できるような雰囲気での会議ではないとの印象があった。そこで教育委員会の所管として旧岩崎家末廣別邸整備活用検討委員会を5人の委員による構成で、年に4回ほど開催していきたいと考えており、来年度の予算に要求した。

委員のメンバーは、シンポジウムに出席いただいた建築物を中心とする文化財を専門とする大学教授3名のほか、造園関係の専門家を交えて検討していきたいと考えている。

また、市民の意見を反映するため、検討委員会の下部組織としてワークショップ方式により、3人ぐらいのチーム編成をして、パブリックコメント的なものをいただいて案文を作成、それを検討委員会で議論していきたい方向性を出していきたい。

教育長 関心の深い方が多く、嬉しいことであるが、一般公開については整備中であるのでもう少しお持ちいただきたい。ホームページ上の教育長あいさつの中に記載したが、別邸の最近の様子を写真で掲載することを考えている。

完全に整備が完成した後一般公開をするのではなく、整備途中の段階でも公開することについて検討していく。

(5) 第6回英語スピーチ・パフォーマンスコンテストについて（生涯学習課）

生涯学習課長 アンケート結果によると年々良くなっているとの感想をいただいた。審査員、協賛の関係者から参加者のレベルが上がっているとの評価をいただいた。その一方で改善点もあるので次回以降に反映していきたい。

委員 パフォーマンス部門の評価方法（優秀賞、最優秀賞の採点対象として加えていただきたい。）については、次回の実施について検討してい

ただけるのか。

生涯学習課長 可能な限り検討していきたい。

委員 ホームステイ体験ツアー増員の具体的な案はあるか。

教育長 主催は国際交流協会であり、企画課から補助金を受けて事業を実施している。参加者も相当額の自己負担があると聞いている。国際交流協会会長のお話を伺うと、来年度少しでも人数を増やしたいが、こういった台所事情もあることを理解していただきたいとの話があった。

(6) 月例報告（各課等）

教育総務課

- ・ 11月28日から12月議会が始まる。12月3日から5日まで一般質問があり、10日に文教厚生常任委員会を経て19日に最終日を迎える。
- ・ 11月28日は、教育委員会表彰授与式を行う。
- ・ 12月20日は、学校適正化配置検討委員会の第4回目が開催される。
- ・ 12月24日は、教育委員会定例会議を予定する。

学校教育課

- ・ 11月12日に洗心小学校在り方検討協議会を開催した。

児童数を増やすことで何とか洗心小学校を存続させたいという地元の方の話が中心であった。学童保育が洗心小学校にないことについて、従来は洗心小学校に設置するという話であったが、今回は、浩養小学校の学童保育を利用するためバスによる移送ができないかという可能性について話があった。また、洗心小学校自体の魅力をさらに高めて子供たちを集めようという話があった。

- ・ 11月15日は、市の校長会視察研修として市原市加茂学園を視察した。今年度から小中一貫校としてスタートした学校である。小学校の3校が改修した中学校と一緒に入り、4・3・2年制であった。富里市におけるジョイントスクール構想に参考になる情報があったものと考えている。
- ・ 12月6日は、教育長・校長合同会議を予定する。
- ・ 12月9日、12日は、富里南小学校と富里小学校で北総事務所の訪問を受け、授業研修を行う。
- ・ 学校給食費の徴収状況については、97.90%と昨年度の同期と比較して上昇している。

学校給食センター

- ・ 11月15日に学校給食センター研究会第一地区研究会研修会が行われた。
- ・ 12月18日は2学期給食の最終日である。

生涯学習課

- ・ 11月15日に生涯学習・家庭教育講演会を開催した。たくさんの家庭教育学級生の参加をいただき好評であった。
- ・ 11月24日に農家の方5名のご協力をいただき、ふるさと学習、野菜収穫体験を実施した。13組41名の参加であった。栽培から出荷までの説明を受け、収穫を行った。
- ・ 12月1日印旛郡市駅伝競走大会を予定する。

図書館

- ・ 10月下旬から引き続き、わくわくワーキング～中学生の職場体験学習の受け入れを実施した。
- ・ 11月16日に洗心小学校でミニ集会を実施した。参加者は75名であった。
- ・ 11月20日に洗心小学校でおはなし会を実施した。参加者は44名であった。
- ・ 11月30日から6日まで、図書館で保存期限が過ぎた雑誌のリサイクルを目的に配布を実施する。
- ・ 11月24日、新たにボランティア3名の申し込みを受けて説明会を実施、現在活動に入っている。

7 その他

(1) 平成25年度全国学力・学習状況調査の結果について

学校教育課長 全国学力・学習状況調査は、小学校6年生、中学校3年生の全児童生徒を対象に実施された。国語と算数それぞれにA問題とB問題がある。A問題は、主として知識に関する問題で、身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識、技能等を問う問題である。B問題は、知識、技能等を実生活の様々な場面に活用する力を問う問題、様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価改善する力などに関わる問題である。全国平均正答率との比較においてAは5%以上を上回っている状態、Bはプラスマイナス5%以内、Cはマイナス5%より下回っている状態を示す。

小学校の場合、国語AがC、国語B、算数A、算数BがB段階となった。

中学校の場合、国語AがB、国語B、算数A、算数BがC段階となった。この結果から市として学力向上については大きな課題と考えている。学校間の格差、個人差もあり、学校により高い結果の児童生徒と低い結果の児童生徒といった2極化を示す学校、全体が平均より低

めの児童生徒が多い学校などの状況もあり、各学校において状況に応じた対策を考えている。

教育委員会としては、漢字と計算を行う「とみの国検定」の取組をしたことで国語の書き取りは全体として結果が現れている。一方で、漢字と計算だけでは、学力の状況を改善できない部分が多くあり、課題と考える。

県の教育委員会事業で学力向上検証事業というものがあり、富里南小学校と富里南中学校が参加、県からは人員配置があり、今年度から研究を始めた。小学校4校について、学習サポーターとして退職した先生に入っただき、授業のサポート、時間外の指導について9月から取組を始めた。来年度、印旛地区全体に対して学力向上交流会という県の事業があり、七栄小学校を会場と指定し研究を進める。この取組の中で市内に効果を広めていくことが大事であると考えている。

分析内容をみていくと、穴埋めや記号で回答する問題ではなく、自分で書いて答える記述式の回答結果が低くなっている。自分で文章を書き、式で表現する問題への取組が課題となっており、各学校の分析をみても同様に課題と考えていることがうかがえる。

国語、算数に限らず、例えば理科では、実験の結果を括弧の中に単に入れるのではなく、文章にして書くなど、授業の在り方自体を工夫、改善していかないと身についていけない力と考える。授業改善が基本的に必要で、5年目以下の若手の先生方について、富里市は研修を特別に行っているので、授業の在り方についても研修して授業力を高めることが大切であると考えている。

書くということは、今の新しい学習指導要領で求められている表現する力をどう身につけていくかに直接つながるので、富里市の教育は新しい学習指導要領に沿った教育に課題があると受け止めて、学校と一緒に学力向上に向けて取組んでいきたい。

委員 書く力をつけるため、授業の在り方の改善についてそれぞれの学校で努めていきたいと感じた。学習への取組のアンケートを見ると、どこの学校も宿題をやっていかないという子どもが多いこと、自分で計画を立てて学習を進めることがC評価となっている。家庭での意識向上、子供たちの生活に目を向けていくことが必要と考える。

ラインに夢中になる、学習するよりもスマホやゲームに時間を費やしている子どもが多いと新聞で報道されており、富里市でも同じような状況があるのではないかと思った。家庭への投げかけについてもお願いしたい。

(2) 富里スイカロードレース大会実行委員会会議の結果について

生涯学習課長 第30回大会で大変残念な事故があり、次回以降の大会の運営、実施についての改善策を検討してきた。これまで事務局側で開催日を前倒しにすること、開催時間を早めること、競技の入れ替え、コース自体の見直しなどを検討した結果、抜本的な解決策がないため、5キロの部を廃止して定員を減らすことを考えていたところである。

その後、大会委員長の意向により現在の大会規模を維持していくことになった。

部門としては3キロ、5キロ、10キロ一般の部、10キロ40歳以上の4部門と変更なく、5キロの部の定員については1,000名を減らし、残りの3部門に分散、合計人数を13,000人と従前と変わらない数とする。

ランナー同士の交錯を回避するため各部門での競技開始時間を変更し、参加費の値上げについては500円アップの4,000円とする案で12月13日の実行委員会会議に提案し、正式な決定を行う。

武井委員長 成田赤十字病院の先生に提言をいただいた内容について、大会事務局で検討し、次回の大会運営の案とするこの内容については、先生に報告しているのか。

生涯学習課長 11月7日の会議結果をもって説明に行ったところ、この案に納得はされていないが、ある程度の理解はいただけたと思う。

医師からは、再度、開催日を前倒しにできないかとの話があったが、開催日を1週間、2週間早めても開催する年、日によって大きな影響がないという気象データやこれまで過去から開催してきた事情、経緯により開催日の変更を考慮することは難しいと考えている。

委員 駐車場は新たに確保できたのか。第一小学校から酒々井アウトレットに抜けるバイパス道路は完成するのか。

生涯学習課長 駐車場の確保については不安が残っており、駐車場担当部門で考えていくことになるのだが、大会事務局としても探している状況である。酒々井アウトレットの駐車場を借用できないかという案がある。アウトレットの駐車場を利用するためにはシャトルバスを運行する必要がある、実際にシャトルバスを巡回する場所の確保が必要になる。また、旧道でシャトルバスを運行することは可能であるが、アウトレットの渋滞や地元の方の交通事情を考慮すると建設中のバイパス道路を利用することが望ましいと考えている。バイパス道路が完成するかについては、担当課からの明確な回答は得られていない。

シャトルバスの運行が可能である条件が揃ったときに酒々井アウト

レットに話をしていきたいと考えている。

図書館 11月10日に開催した図書館開館10周年記念講座「耳で味わう～平家物語」について、事前申込は70名であったが当日の参加者は51名であった。参加者の感想を聞いたところ大変よかったとの評価を得た。

また、11月1日に千葉県教育功労者表彰があり、富里市図書館が社会教育の部で受賞したことを報告する。

9 委員長閉会宣言

武井委員長 以上で、平成25年度第9回富里市教育委員会定例会議を終了する。